

南九州短期大学

『留学コース通信』

平成 30 年 10 月 30 日
第 17 号
文責：水島孝司
(留学コースアドバイザー)
学校電話 0985-83-2100

こんにちは。この通信は、海外留学や異文化理解・交流に興味のある高校生の皆さんに、南九州短期大学が提供しているアメリカでの単位認定留学プログラムについてより良く知ってもらいたいとの願いから発行するものです。第 17 号では、昨年 9 月から今年 3 月までエドモンズ・コミュニティカレッジ (EdCC) に留学した佐々木美穂さんに、英語力向上のために授業外で実践したことを紹介してもらいます。

Q: 学校での授業以外に、英語力を伸ばすためにどのようなことに取り組みましたか。

いろいろなことに取り組みましたが、私は特に“Conversation Partner Program” (以下、CPP) と呼ばれる英会話プログラムに参加したり、ホストファミリーに積極的に話しかけたりしました。

まず、CPP について簡単に説明します。この制度は EdCC で ESL (第二言語としての英語) を学んでいる学生が無料で利用できるもので、大学の留学生センター (International Student Services) に申し込むと、英語を母語とする会話のパートナーを紹介してもらえます。ESL の授業以外で新しい人と知り合いになれるだけでなく、英会話の練習をすることができる魅力的な制度です。

私のパートナーは Margi (マギー) さんという心理学などを学んでいる大学生でした。毎週水曜日の放課後に、私たちは大学の学生ラウンジで会って、1 時間会話をしていました。

写真

- p.1 左 佐々木美穂さんと Margi さん
- p.1 右 佐々木さんのホストファミリー (一番右が佐々木さん)
- p.2 左 シアトル国際空港に到着した香川翠さんと本島颯人くん
- p.2 右 右が本島くん、中央が香川さん



そしてお互いの国の文化や風習などについて紹介したり、質問し合いました。私が日本ではクリスマスは家族と一緒にではなく、カップルで過ごすことが多いと伝えると、Margiさんは大変驚いていました。また、Margiさんの家ではクリスマスや感謝祭(Thanksgiving Day)などで家族が集まる時、食事の前に手を繋いでお祈りすることを教えてくれました。今でも、彼女とはInstagramを通して繋がっています。CPPに参加してみて、英語力の向上だけでなく、日本を客観視することができるようになったり、相手の国について深く知ることができたので良かったです。

次にホストファミリーとの会話についてです。私は留学前からホストファミリーと本当の家族のように仲良くなることを目標としていました。そのため、まずは自分の故郷や家族についてホストファミリーに紹介しました。これらの紹介は留学前の「アメリカの生活と文化」という短大の授業で練習し、資料や写真を用意していたので、スムーズに行うことができました。また、ホストマザーに“**What are you going to do this weekend? If you don't mind, I want to go out with you.**” (週末は何するの? もしよかったら、一緒に出かけたいんだけど)と自分の気持ちを伝えると、その後外食や買い物に誘ってもらえるようになりました。一緒にクリスマスツリーを選びに行ったことが一番の思い出です。それ以外にも、ホストマザーが作ってくれた料理やデザートが美味しかった時は“**It's delicious! I like it!**” (美味しい! この料理好き!)と言葉に出して伝えたことで、私がどの料理が好きかを覚えてくれて、私のためにわざわざ作ってくれたりもしました。私は特に彼女が作るかぼちゃのパイが好きでした。

英語力を伸ばすために、私はこれらの2つのことに取り組みました。授業外で積極的に行動したことで、友人が増え、ホストファミリーとの親睦も深まりました。英語力に自信がついたのはもちろんのことです。皆さんも失敗を恐れず、積極的に行動してください。

★「平成30年度単位認定留学」がスタート★

平成30年度の単位認定留学が平成30年9月7日にスタートしました。留学コース1年生の香川翠さんと本島颯人くんが来年3月までEdCCで学ぶ予定です。英語の学習に力を入れるのはもちろんのこと、英語を使って世界中から集まった人たちやホストファミリーと積極的に交流し、多文化を肌で感じ、人間的に大きく成長してほしいと願っています。

